



クンドルニュース

Depository Library

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館

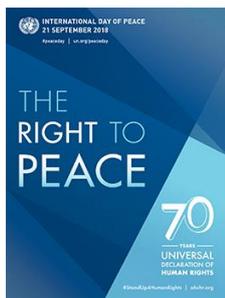
～9月21日～

International Day of Peace

国際平和デー

2018年のテーマは

“The Right to Peace – The Universal Declaration of Human Rights at 70”



国連は世界の平和のために協力することを誓った国々が集まった機関であり、「国際平和デー」は国連が定めた平和の記念日です。

2018年は世界人権宣言70周年の年です。世界人権宣言の精神を踏まえ、人権を守ることは、平和な世界を生み出す根底をなすという思いからこのテーマが設定されました。世界人権宣言は全ての人民と国家にとって達成すべき共通の基準として、1948年の12月10日に国連総会で採択され、じつに360以上の言語に翻訳され、人類の歴史の中で最も重要な文書のひとつと考えられています。

検索

国連公式サイト(英語)
<http://www.un.org/en/events/peaceday/>

全世界の停戦と非暴力の日として、すべての人々が平和に暮らせるように取り組むこの日、私たち一人ひとりが、まずは身の回りの学校や、所属するコミュニティから、また、インターネット上などにおいても、平和と人権を考え、争いや暴力がなくなるための解決法を見出し、行動に移すことが求められています。



8月7～9日

グテーレス国連事務総長が訪日しました！



持続可能な開発目標 (SDGs) の目標 10. 「平和と公正をすべての人に」

国連事務総長としては2回目の訪日となった今回、安倍総理大臣との会談後に、長崎を訪れ地元の関係者や被爆者の方々と面会しました。9日には長崎原爆資料館および国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館を訪れ、その後、被爆73周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列しました([長崎平和祈念式典に寄せる国連事務総長演説全文](#))。

平和祈念館で行った記者会見の終わりには、次のような決意の言葉が記されています。

“I express my deep solidarity with all the victims of the atomic bomb, their families and Nagasaki community. My message is very clear repeating the cry of the courageous Hibakusha. Nagasaki never again.”

未来を創る
若者ファイル
No.2



世界目線で頑張っている若者を
紹介していくコーナーです！

熊井 彩花さん

Q 自己紹介をお願いします

— 県立高校で数学の教員をしています。

Q 今後の目標は？

— 数学文化は海外を中心に発展してきた歴史がありそちらが注目されがちですが、日本にも「和算」という独自の歴史があります。せっかく日本で数学を教えるのであれば和算について調べ、生徒にその良さを伝えていけたらと考えています。

Q 好きな言葉は？

— “できる時にできる事を、できる人ができる場でできる限り。(田中康夫)

教員になられて2年目の熊井さん！当館に研修にいらした時にお話をうかがいました。教育と数学を熱く語るキラキラした瞳が印象的でした！

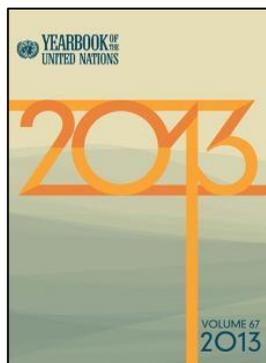
Q 感銘を受けた本はありますか？

— 『生きるぼくら』 原田 マハ／著 徳間書店 2012年

Q 印象に残る海外体験は？

— イタリアに行った際にいきなり「Hello! Are you happy? 」と聞かれたことが印象に残っています(笑) 観光地ということもあり、街の人がイタリア語ではなく英語で人懐こく話しかけてきてくれ、人との距離の近さとサービス精神の豊かさに驚きと嬉しさを感じました。高校生も一人ひとり、人との距離感は違いますが、色々な距離感の人がいてこそクラスはバランスよくまとまると感じます。日本人のよさを生かしつつ、海外で働けるようリーダーが育ってほしいと思います。

◆◇今月の注目図書◆◇

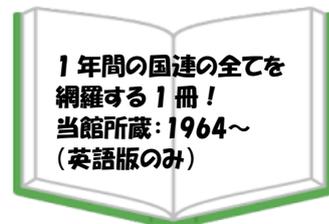


『Yearbook of the United Nations 2013, v. 67』

(国連年鑑)

UN, 2017 xiv, 1605 p. Sales No. E.15.I.1

ISBN 9789211013313 国連書架 A2



国連の活動を余すことなく盛り込むために、編纂にも時間を要する国連年鑑、2013年版が最新版です。第1回目の国連総会が開かれた1946年版が第1巻の国連年鑑の歴史は、国連の歴史でもあります。



厚さ約9cm!
1620ページの大容量!

検索

国連年鑑(1946~2013年版)は下記のサイトでも全文見ることが出来ます。

<https://unyearbook.un.org/>

国連の活動を調べるための参考図書としての代表格の国連年鑑ですが、例えば環境問題がはじめて独立した章で取り上げられたのが1968年版であり、その後何を話し合い、どのような解決や指針を打ち出して来たのか年を追ってみたいこともできます。また、巻末には件名索引、決議・決定索引等があり、調べたい情報にたどり着きやすくなっています。

グテーレス事務総長、軍縮アジェンダを提唱

グテーレス国連事務総長は、長崎の平和式典での演説の中で、5月にグローバルな軍縮イニシアティブを発表したことに触れています。これは、2018年5月24日に発表された“Securing Our Common Future”と題する軍縮アジェンダ([An Agenda for Disarmament](#))で、その発表に際して、事務総長はジュネーブ大学で講演し、3つの優先課題として、①人類を守るための軍縮、②人命を救うための軍縮、そして③未来世代のための軍縮を訴えています。



検索

国連広報センター <http://www.unic.or.jp/> > [国連と軍縮特集ページ](#)

ご存知ですか?
国際デー



9月23日

International Day of
Sign Languages

手話言語の国際デー

国連は、昨年12月19日の第72回総会において、9月23日を「International Day of Sign Languages (手話言語の国際デー)」と宣言する決議([A/RES/72/161](#))を採択しました。全世界をあげて手話言語の意識を高めていくことを目的としています。決議文の中で、手話言語は音声言語と対等であり、言語の多様性を考える意味でも重要な役割を担っていることが指摘されています。手話という言語の重要性を理解することは、聴覚に障害を持つ人々の人権保障、そして持続可能な開発目標(SDGs)の目標10。「人や国の不平等をなくす」の達成にもつながります。

「手話言語の国際デー」、今年が第1回目!



編集後記



クンドルニュースは福岡市総合図書館の各分館はじめ、市内施設や県内図書館、国連関連機関等に配付させていただいております。ご質問やご感想などございましたら、お電話もしくはご来館いただきたく思います。国連に関する情報がより皆さまの身近に感じられるよう工夫しながら、頑張っています!

お気軽に2階国際・国連カウンター
にお立ち寄りください!



九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階

TEL 092 (852) 0628 URL <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp>

開館時間: 10:00~20:00
10:00~19:00 (日・祭日)
*相談業務は19:00(日・祭日 18:00)まで
休 み : 毎週月曜・毎月月末
(休日のときはその翌平日)
年末年始・図書特別整理期間